

はじめに

ジェトロは、世界有数の資源大国であるコンゴ民主共和国（以下、DRC）にミッションを派遣し、同国における日本企業の参入機会を探ります。

DRCはクリティカルミネラル（重要鉱物）の主産地として、世界経済において存在感を高めています。その中で、コバルトをめぐる米中の新たな競争により、南部アフリカ地域の大規模な開発計画が動き出しています。今回訪問するコルウェジはDRC有数の鉱山地帯を有し、まさに鉱業が人、モノ、資本を集めゴールドラッシュともいえるべき急激な発展を遂げています。また、南部の中心都市であるルブンバシでは脱鉱業を目指し、製造業など急速な多角化の動きが進んでいます。DRC経済をけん引する両都市の開発計画は、資源の安定供給にとどまらず、鉱山開発を中心に広がる資源バリューチェーン全体への参入、さらに人口やビジネスプレイヤーが急増する内陸地域の成長を取り込む観点からも、日本企業にとって幅広いビジネス機会となることが見込まれます。

急速に進み始めた同地域のビジネス開発に日本としても早期から参画すべく、この度現地のビジネス環境視察や現地企業とのネットワーク構築の機会を提供します。皆様のご参加をお待ちしています。

参考：ジェトロ 地域・分析レポート『動き出す南部アフリカ大動脈構想-米中の資源開発が開発の推進力に-』

訪問先・交流先企業等（予定）

民間企業：

- ・Kamoa Kakula Copper Mine（銅鉱山最大手）
- ・VINMART Group（現地財閥グループ）
- ・Go Congo（農業・食品大手）
- ・Liberty Group（現地財閥グループ）
- ・Brasimba（現地ビール製造最大手）
- ・Kiswishi SEZ（経済特区）
- ・RAW Bank（銀行最大手）
- ・Rawsur（保険最大手）

州政府、経済団体、国営企業：

- ・北カタンガ州政府（在ルブンバシ）
- ・ルアラバ州政府（在コルウェジ）
- ・コンゴ民経団連（カタンガ支部、ルアラバ支部）
- ・国営電力公社（SNEL）
- ・国営鉄道公社（SNCC）



活気溢れるコルウェジ市内



アンゴラ国境へ向かう鉄道



コルウェジ郊外の銅鉱山



現地の大手ビール醸造所

募集要項

日時	<p>2026年2月23日（月）－2月27日（金）【5日間】</p> <p>※本ミッションはルブンバシ集合・解散となります。</p> <p>※2月22日（日）中にDRC入国、28日（土）に同国出国を想定したミッションプログラムになります。2月23日から27日の5日間は、商談・ネットワーキングを含め、原則全ての予定に参加いただきます。</p>
募集人数	<p>定員30名（最少催行人数：10名）</p> <p>※参加希望者が定員を上回る場合、現地視察先・協力機関と相談のうえ、選考させていただきますことがあります。複数名を登録される場合、1名でのご参加をお願いする可能性があります。</p>
募集対象	<p>DRCでのビジネス開拓に関心を有する日系企業関係者</p> <p>※但し、実務担当者を対象とし、教育・研究業、広告業、専門サービス業（コンサルタント等）は対象外とします。</p>
主催	日本貿易振興機構（ジェトロ）
参加費用	<p>実費：</p> <p>◆参加者様のご負担となる費用：</p> <ul style="list-style-type: none">・ルブンバシまでの往復航空券・ルブンバシ～コルウェジの往復航空券代・査証代・飲食代（公式行事としての交流会やレセプション等を除く）・海外旅行保険・ホテル宿泊料・予防接種代 等 <p>◆ジェトロが手配・負担する費用：</p> <ul style="list-style-type: none">・ジェトロが指定する集合場所から訪問先へ移動するための専用バスの費用等・公式日程内の一部レセプション開催経費・通訳費用等 <p>※ルブンバシ～コルウェジの往復航空券、およびホテルの宿泊はジェトロが参加者分を一括で手配します。支払い方法については、後日参加者にご連絡します。</p>
言語	<p>英語</p> <p>※ネットワーキングのみ、英仏通訳が付きます。（日英、日仏通訳のご用意はありません。1名の通訳につき参加者複数名の対応となります。あらかじめご了承ください）</p>
お申込み	<p>以下のウェブサイトからお申込みください。</p> <p>※オンラインでのお申込みとなります。はじめてお申込みの方は「お客様情報登録」（無料）が必要です。</p> <p>ウェブサイト：https://www.jetro.go.jp/customer/act?actId=B0084447D</p> <p>申込締切：2026年1月16日（金） 17:00 (JST)</p>

スケジュール（予定）

※スケジュールは変更となる可能性があります。

日にち	訪問都市	行程
2月22日（日）	—	指定便にて、各自DRC（ルブンバシ）入り。 空港送迎あり。
2月23日（月）	ルブンバシ	地場銀行より現地事情についてブリーフィング実施後、 現地製造業の工場（ケーブル等）の視察。午後、経済 特区視察ののち、消費財メーカー（ビール工場を予 定）を訪問。
2月24日（火）	ルブンバシ	食品メーカー（ビスケット、小麦製粉）の工場視察。 午後、スーパーマーケット視察。 夕刻、在ルブンバシの現地企業との交流会。
2月25日（水）	コルウェジ	ルブンバシからコルウェジに移動後、近郊鉱山や鉄道、 現地スーパーマーケット等を視察。
2月26日（木）	コルウェジ	現地の代表的な銅・コバルト鉱山を視察。 夕刻、在コルウェジの現地企業との交流会。
2月27日（金）	ルブンバシ	コルウェジからルブンバシへ移動後、現地解散
2月28日（土）	—	空港送迎あり。 指定便にて、各自DRC（ルブンバシ）発。

DRC渡航に際してのご案内

◆ルブンバシまでのフライトについて

ルブンバシまでのフライトはジェットロの指定するフライトで渡航願います。ルブンバシ空港までの直行便は、アディスアベバ（エチオピア航空）、ナイロビ（ケニア航空）、ヨハネスブルグ（エアリンク航空）からのみ運行しています。このうち、ケニア航空は頻繁な遅延、キャンセルが発生していることから、**指定便はエチオピア航空ないしエアリンク航空のみ**とします。

◆ルブンバシ～コルウェジのフライトについて

同区間については、航空会社の通常便あるいはチャーター機での移動を予定します。最終的な参加者数やコストを見てジェットロがどちらか判断のうえ、後日参加者にご連絡します。

◆DRC到着、帰国時及び黄熱病予防接種（イエローカード）について

入国時に黄熱病予防接種証明書（イエローカード）の提示が求められますので余裕をもってご用意ください。なお、指定便での到着時および帰国時は、ジェットロの委託業者が円滑な出入国手続きを行えるよう送迎を行います。しかしながら、入国手続きは省略ができず、長蛇の列に並んで頂く必要があります。あらかじめご了承ください。また、荷物検査等の係官より賄賂の要求がある場合がありますが、できる限り応じないようご注意ください。

◆査証について

日本国籍保有者は、DRCに入国するためには査証を取得する必要があります。査証は事前にお住まいの国のDRC大使館や総領事館にて取得します（招聘状はジェットロが現地委託先を通じて発行）。各国で査証取得に必要な書類や期間が異なる場合がありますので、余裕をもってご手配ください。※同国はe-Visa未運用となっています。

注意事項・免責事項

※注意事項※

本ミッションを安全に遂行するため、以下の外務省の「海外安全ホームページ」や在コンゴ民主共和国日本国大使館発行の「安全の手引き」（2025年3月版）に目を通して、万全の準備を整えたうえで、ご参加ください。

○https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsputhazardinfo_103.html#ad-image-0

○<https://www.rdc.emb-japan.go.jp/files/100618003.pdf>

1. 行程によっては、長時間にわたり悪路を車で移動することが予定されています。各人の健康状態に合わせて参加をご判断ください。**訪問先・視察先等及び各日のスケジュールは現時点での予定であり、変更の可能性がございます。**
2. お申込み頂いた内容が本事業の主旨にそぐわないと考えられる場合は、内容確認をしたうえでご参加をお断りする場合があります。
3. 本ミッションは、**現地集合・現地解散型**です。原則として全行程への参加を必須とします。集合場所までの往復移動手段（航空券・タクシー等）の手配及び費用は参加者様のご負担になります。その他の費用詳細については、本募集案内の「参加費用」の項目を改めてご確認ください。
4. 本ミッション内の空路移動については、利用する航空会社の機体の都合上、比較的小型のプロペラ機の利用となる可能性があります。予めご了承ください。
5. コンゴ民主共和国では、日本と比較して治療費・入院費等が高額となるケースがあります。また、状況によっては先進国などへの移送が必要な場合もあり得ます。不測の事態に備え、費用が100%カバーされ、キャッシュレスで受診することのできる海外旅行傷害保険への加入をお勧めいたします（国外への緊急移送は1千万円以上を要します。十分な補償（治療費用保険金）かどうかを事前にご確認ください）。
6. 本ミッションの視察・訪問先において、参加者個人で行動されることは原則として認められません。主催者側による引率の指示に従って行動をお願いいたします。
7. 視察先企業との競合上の理由により、一部の参加者に対して特定の視察先への訪問が許可されない場合がございます。
8. 申し込みフォームにご記入いただく情報のうち「参加者ご氏名」「貴社名」「ご所属部署名・役職」及び「貴社事業概要」については、ミッション催行時の交流用に参加者リストとして交流先に提供いたしますことを予めご了承ください。
9. ミッション期間中、メディアの取材が入る可能性がございます。
10. ジェトロからのご参加確認及び催行決定の通知を受け取ったのちに、航空券等の手配を開始されることをお勧めいたします。
11. ミッション終了後、ジェトロが成果把握等を目的として実施するアンケートにご協力ください。

※免責事項※

1. 本ミッションが中止もしくは延期となった場合、申込者の責によらない事由により参加できなくなった場合においても、一切の経費・損害（予約されたホテル、航空券代等のキャンセル料を含みますが、これに限られません。）をジェトロが補填することはいたしかねますので、予めご了承ください。
2. ジェトロでは、ミッション期間中に発生した参加者に係る携行品盗難・携行品損害、疾病治療費用等につき、一切負担できかねますので、予めご了承ください。
3. 本ミッション参加中に体調不良となった場合、ジェトロは最大限のサポートはさせていただきますが、現地での感染・発症リスク、現地での治療・隔離措置等に伴う滞在期間延長またはその他の不測の事態に伴い発生する費用・損失等に関しては、一切補償できません。

| お問い合わせ



ジェトロ本部 フロンティア開拓課（担当：色川、山田）
TEL：03-3582-5170 Email: bde-event@jetro.go.jp